

東京2025世界陸上 持続可能な大会に向けた取組について



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
T O K Y ● 2 5

～2025.04 大会関係者・財団各部署と大会での取組内容整理

2025.04.24

「東京2025世界陸上サステナビリティプラン公表

大会関係者と連携し、暑さ対策や再エネ活用、資源循環、多様性等の取組を整理した、持続可能な大会運営の指針



2025.08.25

「東京2025世界陸上における暑さ対策」公表

昨夏の猛暑を踏まえ、大会における暑さ対策の方向性・準備状況を整理

2025.09.13-09.21 本大会

2026.01.30

「東京2025世界陸上サステナビリティレポート」公表

大会の持続可能性に関する取組成果やCO₂排出量やリサイクル率等の環境影響に関する統計データを整理



環境的側面の取組

気候変動・エネルギー、暑さ対策

廃食用油から製造されたSAFの活用

Airソーラーの活用

バイオ燃料の活用

低環境負荷車両の活用
効率的な輸送

カーボנקレジット
グリーン電力証書の活用

大会における暑さ対策

資源循環・持続可能な調達・廃棄物削減

ボトルtoボトルの実施

リユース容器の活用

食品ロス対策

装飾のアップサイクル

環境改善

プロギング

大気環境モニタリング

施設改善と大会後の活用

社会的側面の取組

開かれた大会運営等

こどもたちの大会運営体験

ボランティアの大会運営参加

選手の平等な施設利用

多様性、陸上への関心、ウェルビーイング等

多様な人材採用と人権尊重

会場のアクセシビリティ向上

陸上教室の開催、冊子の配布

選手、スタッフ等にセーフ
ガーディング情報を提供

PR
気運醸成

環境配慮の気運醸成

アスリートによる発信

SAF

家庭の油回収量
約**11,300ℓ**

Air ソーラー

広報展開
TVCM視聴
約**1**千万人

バイオ 燃料

CO₂削減効果
約**160**t-CO₂

ボトル to ボトル

リサイクルした
ペットボトル
約**45**万本

食品ロス 対策

喫食率
約**90%**

アップ サイクル

素材の重量
約**51**kg

カーボン クレジット

ボランティア
クレジットの活用
国際スポーツ
イベント初 (国内)

グリーン 水素

世界陸上マラソン
競技での活用
大会史上初

こどもの 大会参画

大会における
こどもの参画
約**6.6**万人

セーフ ガーディング

大会独自の
ステートメント
公表

- ✓ WAが定める大会の持続可能性を評価するABW基準（Athletics for a Better World Standard）において、**世界陸上大会としては初となる最高評価（プラチナ）を獲得**

ABW基準とは

■ 持続可能性の評価指標

WAの持続可能性戦略に沿った採点及びランク付け

【重点 6 分野】

- 1 リーダーシップ
- 2 持続可能な生産と消費
- 3 気候変動と炭素
- 4 地球環境と大気環境
- 5 グローバルな平等・多様性・アクセシビリティ
- 6 ウェルビーイング



取組例① 廃食用油から製造されたSAFの活用

SAF（持続可能な航空燃料）の普及啓発

- ✓ 東京都との連携により、SAFの原料となる**廃食用油の回収促進キャンペーン**を大会前から展開
- ✓ アスリートアンバサダーの北口榛花選手や公式マスコット「りくワン」を起用した**PR動画を制作し、テレビCMやWeb広告などで広く発信**

大会時の廃食用油回収

- ✓ 競技場周辺の**3つのブース（レボインターナショナル・東京都・財団）にて回収ボックス設置**に加え、家庭での油回収を容易にする「江戸前じょうご」を配布（東京都製作）



SDGsイベントで家庭の油回収



江戸前じょうご

©東京都



PR動画

普及拡大に向けた広報展開

- ✓ 大会におけるAirソーラーの普及拡大に向けた広報展開を連携して行うため、東京都と協定を締結
- ✓ 開発事業者の協力を得て、**PR動画を制作し、テレビCMやWeb広告などで広く発信**

大会での活用

- ✓ 東京都の実装検証事業として**競技場周辺にAirソーラーを搭載した庭園灯を35本設置**
- ✓ 競技場周辺の財団ブースに、**Airソーラーを実物展示し、発電した電気で夜間は照明を点灯**



庭園灯



Airソーラーの展示



PR動画

大会におけるバイオ燃料の活用

- ✓ スポンサーのレボインターナショナルと連携し、放送事業者用の仮設発電機に100%バイオ燃料を使用したほか、関係者輸送車両の一部にも5%バイオ燃料を使用（**バイオ燃料活用は世界陸上初の取組**）
- ✓ 大会期間中、100%バイオ燃料約6万ℓと5%バイオ燃料約2万ℓを使用。**通常の燃料使用時と比較し、CO2排出量を約160 t（80%）抑制**

広報・情報発信

- ✓ バイオ燃料に関するPR動画の制作・広告展開に加え、バイオ燃料車両へのラッピングなどによる多角的な情報発信

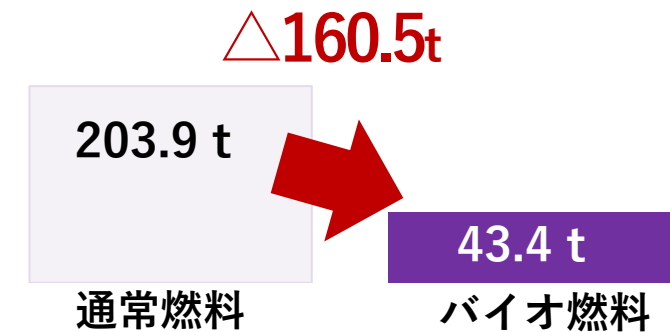


放送事業者用の仮設発電機



関係者輸送車両

通常の燃料使用時と比較した
CO₂排出量



取組例④ ボトルtoボトルの実施

会場でのボトルtoボトル実施

- ✓ WAスポンサーの大塚製薬と連携し、国立競技場や練習会場等で**使用されたペットボトルを回収して新たなペットボトルに再生するボトルtoボトル**を世界陸上で初めて実施
- ✓ 大会期間中に回収され、**水平リサイクルしたペットボトルは約45万本**

分別徹底のための周知等

- ✓ 分別回収ボックスの設置に加え、**視覚的な表示（サイン）**で**分別の周知を強化**
- ✓ ボトルtoボトルの仕組みや意義を紹介するため、PR動画を制作し、会場内などで広く発信



分別回収ボックス



分別のための表示



PR動画

取組例⑤ 暑さ対策

東京2020大会の経験や近年の酷暑を踏まえ、東京都やスポンサーと連携し、あらゆる暑さ対策を実施

観客向け

会場周辺から競技会場に至るまで**切れ目のない暑さ対策**を実施



選手向け

国立競技場・練習会場等において暑さ対策を実施し、**選手が競技に集中できる環境を整備**



関係者向け

大会を支える関係者への**適切な暑さ対策の実施**



先進技術活用

東京都と連携し、**暑さ対策の解決に向けてソリューションを提供するスタートアップの技術を活用**

【休憩用テントへの放射冷却素材の活用】

チームテントやクーリングスポットのテント幕に放射冷却素材を使用した生地を活用



【暑さ対策デバイス】

ボランティア等に暑熱下での危険を知らせるアラート機能を有するデバイスを貸与



【空気中の水分を集めて水を生成する整水器】

クーリングスポットのミストに、空気中の水分を集めて水を生成する整水機を活用



おわりに

世界陸上2025サステナビリティに関する
PR動画はこちらをご覧ください。

